

会 議 録

1 会議名

平成27年度第16回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

直江津学びの交流館の利用状況について（公開）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

【協議事項】

「直江津のまちづくりを話し合い女性の会」について（公開）

3 開催日時

平成28年2月22日（月）午後5時00分から午後6時17分まで

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 増田和昭（会長）、竹内明美（副会長）、池田伸吾、伊藤邦雄、
今井不二子、小林克美、田村利男、田村雅春、冨塚 毅、中澤武志、
福島 弘、町屋隆之、丸山朝安、三上正子（欠席3名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任
直江津学びの交流館：佐野館長、平田副館長

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【増田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：伊藤委員、今井委員に依頼

議題【報告事項】直江津学びの交流館の利用状況について、担当課より説明を求める。

【直江津学びの交流館：佐野館長】

- ・挨拶
- ・資料No.1に基づき説明

当館の駐車場の用地確保について、当館の向いにある「日本たばこ産業」の土地購入として平成28年度予算に計上した。ただ、単純に当館の駐車場ということではなく、直江津地区の活性化に繋がる使い方をさせていただきたいと考えている。予算上は、産業部門の「中心市街地活性化事業」の中に位置付けられ、土地購入費・事業用地購入費で予算計上している。その中で、日本たばこ産業の土地の活用については、直江津駅前の活性化、あるいは、街なかの活性化に繋がるような使い方をしてほしい、という一面を持つと同時に、直江津学びの交流館の駐車場不足を解消するという条件としながら活用を図っていく予定である。

交渉事の為、何時の時点できちんとした報告が出来るかは、これからの話になるが、土地を購入することが出来、建物等が除去されたら、来年度から、当館が暫定的に使わせていただけるような方向で進めている最中である。土地の総体の活用については、また皆さんから御意見をいただく機会もあると思っている。

いずれにしても、皆さんから御意見をいただいていた駐車場の件については、少し前進し、先の見通しが立った、ということをご報告させていただき、説明は終わりとさせていただきます。

【増田会長】

説明に対して意見等を求める。

(意見なし)

— 直江津学びの交流館 退室 —

続いて【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料No.2、資料No.3に基づき説明

【増田会長】

説明に対して意見等はあるか。

【小林委員】

事務局が説明した件とは別に、先日、新水族博物館の設計に関する総務常任委員会が開催されたと思うが、配付された資料は、以前の地域協議会でいただいた資料とあまり変わらないのか。

【荒木係長】

総務常任委員会での内容については、新水族博物館整備課から当協議会へ報告を受けたいと考えているので、資料等はその時に示したいと考えている。

【田村利男委員】

お願いだが、上越教育大学の学生がパンフレットを作成した。そのパンフレットと、地域活動支援事業で採択した「なおえつものがたり」の冊子を委員へ配っていただきたい。

【増田会長】

では、事務局へお願いしておく。

他にいかがか。

(意見なし)

では、資料No.3については、次期委員へ引き継ぎ、次期委員から違った観点の意見を含め検討し、進めて行っていただきたいと思う。資料の内容については、今後、追加・修正は可能である。

また、市へ意見書を提出したが、市からの回答書を見て、それに対してどうするのか、今後は、そのような審議もしていきたいと思う。

本件はこれで終了とする。

次に、「上越市第五次観光振興計画（案）」の資料について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

自主的審議に関連したことであるが、「上越市第五次観光振興計画（案）」が観光振興課から示された。皆様へは、上越市観光振興計画（案）の抜粋したものを配布させていただいた。自主的審議事項の中でも、観光振興計画の件が出てきていたが、「重点集客エリア」の3つの施策の柱として、一つ目は『城下町高田周辺エリア』、二つ目は『春日山城跡周辺エリア』、そして、三つ目に『新水族博物館を中心とした日本海沿岸エリア』が魅力向上と周遊形成に向けた取り組みとして位置付けられた。

この計画（案）については、現在、パブリックコメントに掛っているが、増田会長からは、「委員にも確認してほしい」ということで、今回、参考に配布させていただいた。

内容については、新水族博物館を中心とした魅力づくりが掲載されている部分を抜粋してお示しした。54ページと55ページには「基本方針」、「基本施策」、「施策の柱」が記載され、その内容については、76ページと77ページに書かれている。

パブリックコメント制度において、地域協議会として意見を出すことは出来ないが、自主的審議事項で協議する中で、計画（案）の内容に関して、推進すべき内容であると強く要望するのであれば「意見書」として提出することはできると思う。それを踏まえて、必要であれば御協議いただきたい。

【増田会長】

ポイントは76ページの「施策の柱③」の『新水族博物館を中心とした日本海沿岸エリアの魅力向上と周遊形成』だと思う。この中に「こういう方向で魅力向上を図ってきたい」ということが書いてある。少し時間を取るのを読んでいただきたい。

— 資料に目を通す —

【田村雅春委員】

仮に海外の方を呼んだ場合、案内や看板等に英語や中国語等の表記が必要になってくると思う。そういう取組をするのかどうなのか。

もう一点、直江津港には、観光船が入れない港なのか。

【増田会長】

前段の質問だが、計画（案）にインバウンドに対する項目があり、そこに外国語表記について書いてあった。

後段の港のことについては、どこにも書かれていないが、例えば、「直江津港を利用した外国船を受け入れる観光振興について考えてください」というのは、意見として良いと思う。

【田村雅春委員】

入れるのか、入れないのか分からない。

【増田会長】

入れるか、入れないかに関わらず「呼び込んでください」という意見を出せば良いと思う。ただ問題は、外国船を泊まらせ、外国人が来た結果、どこへ行って何をするのか、というのがなければ、直江津港に船を泊める意味がない、となるので、その部分ほど

うするか。例えば、韓国から観光船をチャーターして直江津港へ付け、そのまま新井リゾートへ連れて行くという方法も十分あると思う。

【田村雅春委員】

直江津はただの通過点でも良いと思う。何故かと言うと、直江津港を利用する全ての方が直江津を素通りするという訳ではないと思う。少しでも直江津に来てもらう、という機会を作る仕掛けが大事だと思う。

【町屋委員】

根本的な問題だと思う。交流人口を増やさなければいけないし、人も呼ばなければいけない。では、来た方たちに、この場でどのように滞在してもらうか。何時間かでも居てくれるようにするにはどうしたら良いのか、それだけのものがあるのか。という話になると、「まちの魅力」というところに戻ってしまうと思う。中国人の爆買いツアーと言うことで、新潟空港からチャーターしても、結局新潟空港を降りた方たちは別の所へ行き、新潟空港が通過点になってしまうのと同じような話である。今、会長から話が出た「新井リゾート」というのは有りだと思う。山口県では一晩で韓国まで行き来している。

【田村雅春委員】

何故この質問をしたかと言うと、例えば、港で降りて直江津で商品を買った時、その業者の方が少しでも潤うのではないかと思った。一步でも二歩でも前進できれば良いと思った。そして、一時間でも二時間でも滞在してもらう仕掛け作りというのは、我々の責任である。そういう機会をどのように作るか。港に入るか、入らないかも含めて。それを聞きたくて質問した。

【増田会長】

要は、そういう発想を持ってほしいということである。

【小林委員】

町屋委員に聞きたいのだが、妙高市にオーストラリアの方が大分来ているようだし、台湾の方も結構来ているとのこと。それと上越市との連携の中で、妙高市に来た方たちを、上越市にも来てもらえるような仕掛けは何かあるのか。

【町屋委員】

外国人に対する「おもてなし」というのは、市の事業で、ホテルのフロントでは、英語が話せない人でもコミュニケーションが出来るようにという取組を行っている。ただ、妙高市に来る方たちは周辺のホテルに泊まる。東京からのスキーツアーで一番多いのは、

志賀高原である。その人達が、上越市に来るというのは、実際には少ない。上越妙高駅から妙高市行きの無料バスが出ているので、上越妙高駅まで行けば、妙高市までは無料で行ける。このアクセスは、上越市にはない。

【増田会長】

妙高市に来たお客さんが上越市にも来てくれれば良い、という発想はあると思う。

【町屋委員】

以前は、北海道航路があった。何故なくなってしまったのか、となると、ニーズの問題がある。結局、ニーズの問題というのが大きい。韓国の人がロッテワールドに来るから、韓国対応を頑張ろうという話はしているが、今の話と一緒に、上越妙高駅まで来て、そのまま新井リゾートに行ってしまうえば、寄るすべがない。宿泊してくれた時に、どうやって寄るのかと言ったら、玄関口が直江津港なら、こんなに良いことはない。それが実現できるかは別として、私達がゲートウェイとしての機能を出せば、本当にすごいことだと思っている。

【増田会長】

他に意見等はあるか。

(意見なし)

私が観光振興計画(案)を見て気になったことは、例えば、「三八市」のことや、歴史のある五智の里や、高田城や春日山城のことは書かれていても、福島城のことは何も書かれていない。資料No.3の中・長期の中にも観光に関する意見があるので、それも取り入れ、「直江津の観光によるまちづくり」という観点で、地域協議会として意見書を出す意義は十分あると思うが、皆さんはいかがか。

【丸山委員】

「新水族博物館を活用したまちづくり」に関する意見をまとめた時は、平成28年度予算に間に合うように進めたので、夢のような話、町全体の話など、みんなの思いを話し合う機会がなかったような気がする。そこを盛り込まなければ、次期委員の方たちに「前委員は何をしていたのか」ということになる。資料にまとめていただいたが、内容は夢のない感じになっているような気がする。もう時間がないので、そんな話は出来ないかもしれないが、田村雅春委員から出た話だとか、いろいろな意見を盛り込める機会があれば良いと思う。

【増田会長】

他の皆さんはいかがか。

【町屋委員】

今回、直江津区のことについて、観光振興計画に載せてもらうのは、すごく大きなことだと思うが、載せてもらった理由は、「新水族博物館を中心とした日本海沿岸エリアの魅力向上と周遊形成」ということで、水族館が中心となっている。

例えば、直江津が「鉄道のまち直江津」と言われるのは、ありがたいことであるが、「鉄道運営会社との連携を活かした広域周遊観光を検討する」というのは、直江津の課題ではなく、鉄道を活かしたまちづくりということであるし、上越妙高駅から各地に対してのアクセス等についても、行政としてきちんとしていただきたい。

また、港があるのは直江津であり、施設としての対応は直江津の問題だと思う。ただ、航路や佐渡へのアクセスの問題は、まちの問題として捉えていただきたい。

【増田会長】

先ほどの丸山委員から思いに対する話が出ていたが、やはり、思いを意見として言うというのは有りであると思っている。

他に意見等はあるか。

(意見なし)

いずれにしても、私としては、上越市第五次観光振興計画（案）に対する意見をまとめて、皆さんにお諮りし、地域協議会からの意見書として出して行きたいと思っているがどうか。

【小林委員】

計画は、これはこれで仕方がないと思うが、思い付いたことを箇条書きにしたいだけのように思う。

【今井委員】

事務局にお聞きしたいのだが、今ある資料は（案）だが、このまま公開されるのか。

【荒木係長】

案については、既にパブリックコメントとして示されている。

【増田会長】

分かりやすく説明すると、地域協議会としては、パブリックコメントに対して意見を出すことは出来ないなので、個人で意見を出したい人は、個人で対応してもらう。地域協議会としては、直江津の観光をどう考えるかというスタンスで意見を出そうということ

である。

【池田委員】

パブリックコメントで出されているのか。

【増田会長】

出されている。パブリックコメントの募集期間は3月1日（火）までである。地域協議会としては、3月中に協議したいと思っている。

他にいかがか。

（意見なし）

では、事務局と相談し、文案を作りたいと思う。

本日、いろいろと意見をいただいたが、他に意見等があったら、事務局へ出していただき、追加意見として取り入れたいと思う。直江津の気持ちを市に伝える良い機会だと思うので、よろしくお願ひしたい。

続いて、**【協議事項】**「直江津まちづくりを話し合う女性の会」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料No.4に基づき説明
- ・3月5日（土）開催予定の「直江津のまちづくりを話し合う女性の会」に出席する委員を確認

【増田会長】

当日の出席人数にもよるので、委員全員が出席する、という扱いにはしない。

— 委員へ出欠確認をする —

では、基本的に、事務局と女性の委員、正・副会長を中心に組立てさせていただきたいと思うので、御了承いただきたい。

本件は、これで終了とする。

次に、その他について、事務局へ説明をお願いする。

【荒木係長】

平成28年度地域活動支援事業概要案について、説明させていただく。

概要案は平成27年度とほぼ同様だが、「4. 提案事業と審査の決定」の『イ. 基本審査・共通審査』内の《共通審査と項目と視点》の中で、④参加性、⑤発展性の文言を一部分かりやすく修正させていただいた。

次に配分額だが、直江津区は960万円である。平成27年度からだとも10万円減になった。最終的には3月議会で予算が議決されることにより決定となるので、御承知おきいただきたい。

- ・次回協議会の協議事項を報告
- ・次回協議会の事務局案：3月9日（水）、3月16日（水）、3月23日（水）

【増田会長】

— 日程調整 —

【荒木係長】

新水族博物館整備課からの進捗状況の報告があるのだが、早い日取りだと、議会対応で難しいかもしれない。観光振興についての協議が3月の前半で必要ということであれば、3月中に2回開催することも考えられる。

【増田会長】

日程は、事務局と相談させていただき、観光振興計画（案）についての協議や、新水族博物館整備課からの説明を併せて9日（水）か16日（水）辺りで日程調整させていただく。

先ほどの上越市第五次観光振興計画（案）について、意見等があったら3月3日（木）までに事務局へ出していただきたい。

その他、意見等はあるか。

【池田委員】

先ほど、直江津学びの交流館の駐車場の話があったが、レインボーセンターの駐車場は、「積雪期、手狭になり、満車時は船見公園を利用してください」ということだが、そこまで行くのは大変であるという声を聞いている。その件も是非、検討していただきたい。直江津学びの交流館も「来年度中には」と言っていたが、何故、新年度に合わすことが出来なかったのか。

レインボーセンターは、近くの駐車場を確保する意思がないのか。その辺の事情をお聞きしたい。

【増田会長】

日本たばこ産業の跡地の関係は、交渉事であるため、すぐという訳にはいかないが、手続きが完了次第、早急にやっていただきたいと思う。その際は、その後の利用形態についても産業振興課から地域協議会へ説明していただきたいと思う。

レインボーセンターの駐車場については、皆さんも満車で止められないという経験をし、不便を感じている方もいると思う。私が思うに、せめて満車の時に「ここに車を止めてください」や「受付にお尋ねください」という案内が必要だと思っている。皆さんから賛同いただければ、事務局から「レインボーセンターの駐車場について検討してください」と話をしてもらうことにしたいと思うがどうか。

(異議なし)

では、そのように取り図りたいと思う。

他に意見等はあるか。

(意見なし)

【荒木係長】

昨年の11月にこども課から新保育園の建設場所が決定されたという報告をさせていただいたが、その後の進捗状況について報告があった。当初の予定通り進んでいるとのことであり、周辺町内会へも説明しながら進めているとのことである。

- ・ 2月27日(土) 直江津区地域協議会活動報告会の委員への出席依頼
- ・ 3月5日(土) 直江津のまちづくりを話し合う女性の会の委員への出席依頼
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。